



土湯アラフドアートアニュアル²⁰¹³

2013 年 9 月 6 日～10 月 14 日

土湯温泉町各所にて芸術祭「土湯アラフドアートアニュアル 2013」を、国内外 30 組以上のアーティストが参加し、開催いたします。アラフドとは、初雪を踏みしめるという方言。土湯温泉町初の試みとなるこの芸術祭は、作品展示だけでなく芸術文化や産業・科学の分野に渡りさまざまレベルの対話を持つのが特色です。



- ①山水荘
- ②高台の民家
- ③なかや菓子店
- ④つたや旅館跡地
- ⑤まつや物産店
- ⑥富士屋旅館跡地
- ⑦ゆ〜ろ
- ⑧しゃくなげ荘

- ⑨土湯見聞録館
- ⑩スナックすずらん
- ⑪岩城屋旅館跡地
- ⑫藤棚

Extension

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| ⑬女沼（徒歩 90 分 or 車 15 分） | 東城 信之介 |
| ⑭男沼（徒歩 75 分 or 車 10 分+歩 10 分） | 鉾井 喬 |
| ⑮原郷のこけし群 西田記念館（車 20 分） | 水川千春／ピメリコ |

- 浅沼 知明
松枝 美奈子
泥沼コミュニティ／森田浩彰
鈴木悠太／デイリリー・アート・サーカス
山田浩之／福永 敦
阿部乳坊 × 総合研究大学院大学／鉾井 喬
上田 尚宏
吉田 和貴／泰平／佐藤一弘／山崎哲史 × いずみひな × 小杉朋子／祐源紘史
水川千春／ピメリコ／筑波大学創造的復興プロジェクト体験・体感ラボ
小山田徹 × 成瀬清／山重徹夫 × 阪本成一／藤原裕策 × 蠟田葉子
山本 高之
葛谷 允宏／清水 玲
清水 総二／SUIKO／下野友嗣
幸田 千依

Information Center

- A 土湯温泉観光協会
B ひさごカフェ
C 元気アップつちゆ
D なかや菓子店

①山水荘 ②高台の民家 ③なかや菓子店 ④つたや旅館跡地 ⑤まつや物産店 ⑥⑦富士屋旅館跡地 ⑧ゆ〜ろ ⑩土湯見聞録館 ⑪スナックすずらん ⑭女沼 ⑮男沼

街中に現代芸術家の作品が展示されています。作品は写真、絵画、彫刻はもちろんのこと、音の作品、インスタレーションアート、プロジェクト形式のものなど、普段美術館で見ている作品と少し違った作品たちもあります。



cotton clouds

浅沼 知明 Tomoaki Asanuma

map ①

パラグライダーでアネハヅルとヒマラヤ山脈を超える試みは、NHK『生きもの地球紀行 ネパール ツル』に収められるなど、自然と調和したアーティスト。土湯温泉町では、綿で雲を出現させます。



赤の庵 Red Hermitage

松枝 美奈子 Minako Matsueda

map ②

高台の一軒家に最も個人的な「庵」をつくりました。大切な事、些細な事、くだらない事、忘れられない事。思いの言葉のカケラをひっそり荷札に託す場所。



土湯モンパルナス

森田 浩彰 Hiroaki Morita

map ③

森田が土湯温泉町の人々のプロフィールを作成します。観客はそこに描かれている人物像を通して、土湯に生きる人々に意識を向けながら街を散策することができます。



遠足 / 近足 | 泥沼コミュニティ

泥沼コミュニティ DoronumaCommunity

event map ③

「次の誰かのためのしおり」観客は、これから訪れる誰かのため、ささやかな道しるべを作成。「泥沼トラベル〜土湯〜」9月28,29日アーティストと女沼まで歩いて巡る「遠足」、土湯町を巡る「近足」。時間をかけて過ごすことで、土湯をゆっくりと見つめる機会をつくります。

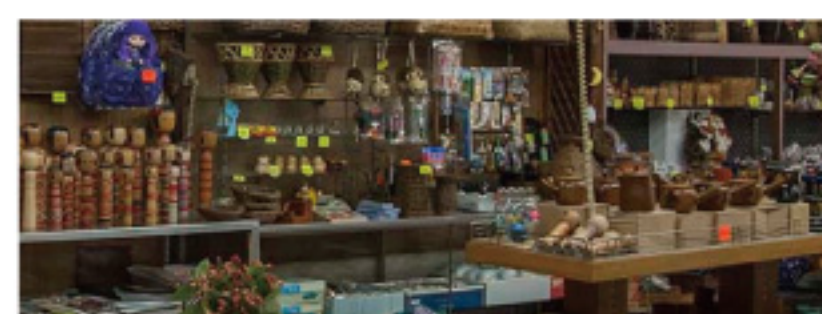


atom...

鈴木悠太 Yuhta Suzuki

map ④

atom...とは、「atmosphere」大気、雰囲気、ムード、環。「atomic」原子、極小等の連想。目には見えない大気を三色分解撮影した作品。それは空間を形成し人や環境に影響します。福島にも、東京にもあります。



The choral souvenirs

福永 敦 Atsushi Fukunaga

map ⑤

土地の思い出を「音」によって記憶に留める試み「スーベニア合唱団」。土湯にある自然の音を、人の声で表現。日本の自然や歴史の中で育まれた特異な表現、擬音・擬態語の豊かさが聞こえてきます。



つち大根

山田 浩之 Hiroyuki Yamada

map ⑤

僕の作るつち大根は壹万円、手間と時間をかけているので、その価格でも赤字。でも無人販売所でしかも大根、高くありませんか？という人と、美術品でこの完成度でこの価格はお買い得という人も。人によって価値観が違うのです。



差室

阿部乳坊+総合研究大学院大学

event map ⑥

Nyubo Abe+The Graduate University for Advanced Studies
今見ている世界を、アートで見る・科学で見るとう変わる？狭いにじり口を抜けると、普段の景色が違って見える茶室空間にたどり着きます。9月14,15,16日10月12,13,14日、お菓子のよう科学をかじりながらお茶を楽しむ「差の湯の会」を開催します。要予約。



風神 ふうじん

鉾井 喬 Takashi Hokoi

map ⑥

「山爺」炭焼きのために幾度となく身体を切られながらも、自らを修復し、数百年を生きてきたケヤキの大木の呼び名。どんな困難にも負けず、耐え抜いてきた東北の象徴として、山爺が風神となり蘇ります。



Into outer space / 2013

上田 尚宏 Takahiro Ueda

map ⑦

地球を周回する気象衛星は大気の様子をリアルタイムに捉え、それを地上へと送信している。衛星が鑑賞者の頭上のどこかを移動している時にだけ聞こえてくる信号音は、大気圏の内と外の風景をつなげます。



スプーン曲げを教える

山本 高之 Takayuki Yamamoto

map ⑨

子どものワークショップをベースとした映像作品。子どもが交わす会話や彼らの遊びに潜む創造的な感性を通じて、普段は意識されることのない制度や慣習などの特殊性や、個人と社会の関係性を描く。

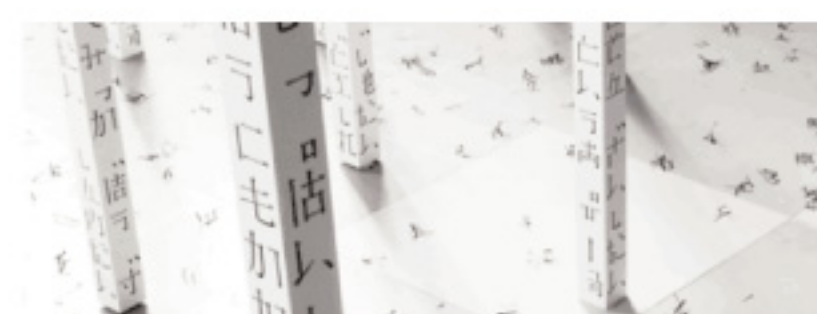


開墾パーティー発酵レシピ

葛谷允宏 Nobuhiro Kuzuya

event map ⑩

周辺に自生する自然酵母を利用した展示と、当時山の開墾事業をしていたお婆ちゃん達が作っていた家庭料理をレシピ化します。土地や住んでいる人の力強さ(変わらないもの変わり続けるもの)に焦点を当てます。クローゼットイベント有り。



部屋の部屋

清水 玲 Ryo Shimmizu

map ⑩

『スナックすずらん』だった空き店舗の二階は、以前は住居でした。二間続きの空き部屋に、建物内外の空気の流れや光を取り込みながら新たな部屋をつくります。



jibaki

東城 信之介 Shinnosuke Tojo

map ⑬

女沼への道端に、佇む金属の作品。不変的なそのモノには絶えず変化を強いられる。その狭間に何を観るのか。



風霊 かざだま

鉾井 喬 Takashi Hokoi

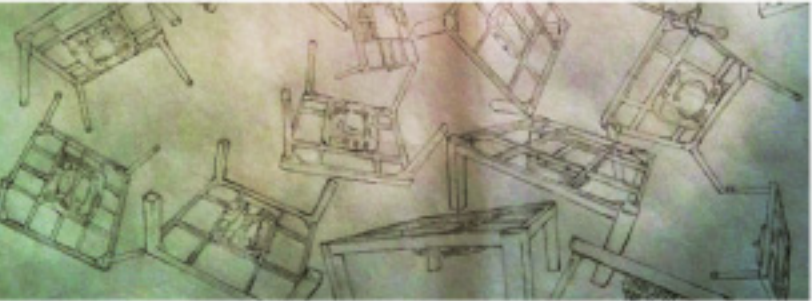
map ⑭

古くから伝説があり、地元の人々に愛されてきた神秘的な男沼。古木に囲まれ、幾千年も以前から今日に至るまで変わらずこの地に吹く風が羽の揺らぎで感じられます。土湯町から徒歩75分。車は10分+徒歩10分。熊注意。

⑨しやくなげ荘 ⑫岩城屋旅館跡地 ⑬藤棚

総合研究大学院大学学融合推進センターが実施している Resonance[共鳴] プロジェクトから、「Diversity Maniacs」／「断片的に切り取られた本棚」／「水晶で満たされたテーブルセット」／「parallel」が出品されます。

総研大 Resonance プロジェクトとは、研究者の文化を発信するために、研究者だけでは気付かない研究者の文化的背景を、芸術家が市民の視点から研究者と対話することにより明らかにしていき、その後芸術家が、研究者の価値観や視点を作品という形で可視化し、社会に発信する、という活動です。また原郷のこけし群 西田記念館との共同企画により、ピメリコ「こけしのフィットネスルーム」／水川千春「土湯」は西田記念館にも作品展示があります。

総研大 Resonance プロジェクト  Parallel 藤原裕策 Yusaku Fujiwara map ⑧ 颯田葉子 Yoko Satta（進化学者） 生物はコピーする過程が生む小さな差異の集積で変化と分化と進化を遂げます。藤原は絵画の技法で転写をなぞらせ、写し取られていく過程で生まれる差異を描きます。	総研大 Resonance プロジェクト  断片的に切り取られた本棚 他 山重徹夫 Tetsuo Yamashige map ⑧ 阪本成一 Seiichi Sakamoto（天文学者） 水晶を粉にした『水晶で満たされたテーブルセット』と本を断裁した2つの作品構成は、目には見えない星の誕生のエネルギーを追う研究者の視点を表現しています。	総研大 Resonance プロジェクト  Diversity Maniacs 小山田 徹 Toru Koyamada map ⑧ 成瀬 清 Kiyoshi Naruse（生物学者） 実験生物の表情に生命の個性を認める研究者のエピソードを元にしたメダカの表情を見せる作品。普段メダカとひとくくりにして生物に個性を見出すことができますか？	 広場でしばらく過ごすこと 吉田 和貴 Kazutaka Yoshida map ⑧ 土湯の町中に「広場」を5つ見つけました。それぞれの場所を結ぶ経路を示した地図を見て辿ることで、時空を超えた様々な土湯の「景色」が頭の中に広がります。	 そして博士（アーティスト）は人類救済装置（アート）を残して逝（デス）った。 泰平 Taihei map ⑨ 部屋全面を使ったインスタレーションを展示します。* ガラス片などありますので、お気をつけください。
 こけしのフィットネスルーム ピメリコ Pimeriko map ⑮ map ⑧ こけしが行うエクササイズは、自己実現のための努力なのか、それとも逃避的な変身願望のあらわれか。セルフイメージを模索するこけしの姿とその部屋を、映像や立体などを用いて構築します。	 土湯 水川 千春 Chiharu Mizukawa map ⑮ map ⑧ 土湯町で滞在制作を行います。温泉の湯と、海の水などを使った、あぶりだしの作品。人の生活の痕跡や、土地の水を素材にしています。原郷のこけし群西田記念館では、海水のあぶりだし着物のこけしも出品。	 ポートレイト（木でこの肖像） 佐藤一弘 Kazuhiro Sato map ⑧ 土湯温泉で八十 余年続く写真館の三代目。ライフワークとして戦前からのビンテージこけしのポートレイトを撮影。こけしポートレイトのカメラマンは珍しく、木に宿された命を表情豊かに写します。	 起き上がりコケシ 山崎 哲史 Tetsushi Yamazaki 他 event map ⑧ 「転んでも、転んでも、起き上がる」…不思議コケシ少女。土湯をテーマに創造した「お起き上がりコケシ」の物語を、小杉 朋子の写真と女優いずみひなが織りなす劇的空間。不定期でパフォーマンスも開催。	 現代芸術家こけし絵つけ map ⑧ こけし祭りにて行われた現代芸術家による、こけしの絵付け展示。安東和之／笠原出／清水 玲／清水総二／嶋津晴美／下野友嗣／泥沼コミュニティ／藤林 悠／まつながえみ／三田村光土里／やまだあやこ／祐源紘史／吉本伊織
 隣はセメタリー 祐源 紘史 Hirofumi Yugen map ⑧ ガイコツのように見える割れ方をしている卵がある。生と死は隣り合わせで等価であるということ。具体的なことを指し示しているのではなく、生きとし生けるものの真理という意味である。	 空白の器 下野 友嗣 Yuji Shimono map ⑪ 自然に出来たものは儚く美しい。そのままをすくい人間の世界に持ち込むとそれはフィルターで色あせてしまう。私は、フィルターを取り除く為に空想上のものを使いそのフィルターを取り除く。	 無題 SUIKO スイコ map ⑪ 広島を拠点としながらも世界各国を巡るグラフィティ・アーティスト。廃墟となった旅館跡の壁面に、特大のコケシが描き出される。	 土湯俯瞰図 清水 総二 Soji Shimizu map ⑪ 町の人との会話から、土湯に昔あったものや思い出、これからこうなってほしいという希望や妄想を加えて、過去・未来・現在・妄想の入り混じった土湯俯瞰図を描きます。1〜2 週間の滞在公開制作。	 スケッチ オブ 土湯温泉 幸田 千依 Chie Koda map ⑫ 会期中に土湯の屋外で公開制作をします土湯にあるものを ちゃんと見たいです絵のまえで 会いましょう * 会期開始から 1 週間程度滞在制作予定

トークショー・ワークショップ等のお知らせ

予約制と記載されていないワークショップは、直接会場までお越しください。予約制のワークショップは、インフォメーションセンターに置いてある申し込み用紙またはウェブページからご予約できます。タイムテーブルや集合場所の記載のないイベントは詳細が決まり次第ウェブページ等で公開いたします。有料と記載されていないものは全て無料です。



土湯 CAMP

CAMP キャンプ

アーティストやキュレーター、批評家、研究者、学生など
と関わりながら、土湯各所でトークイベントを開催。

土湯 CAMP #1 / 7月13日(土)～15日(月)
土湯 CAMP #2 / 9月6日(金)～8日(日)
土湯 CAMP #3 / 11月15日(金)～17日(日)

こども・ビジネスモデルキャンパス

河野 良治 Ryoji Kono 長野大学企業情報学科准教授

戦略的思考を視覚化した画期的なフレーム
ワーク『ビジネスモデルキャンパス』。福
島県の子どもを対象に、土湯温泉町を一つ
の企業と見立てた『こども・ビジネスモデ
ルキャンパス』を2日間に渡り開催。

日時：9月21日(土) 22日(日) 10:00-15:00

*2日間共に参加できること。

対象：福島県在住の小学2～6年生10名。

場所：土湯温泉町支所3階

参加費：無料 予約制



ぼくらのラピュタ作戦

筑波大学 創造的復興プロジェ
クト 体験・体感ラボ

島の上にミニチュアのまちを作り、風船で浮かせま
す。子どもたちが、筑波大学の学生たちと協力して、
夢見るまちを形にして宙へ浮かべたワークショップ
を行い、その後展示します。ワークショップ10月6
日10:00-15:00 土湯小学校、展示10月7日～14日

こけし開き！

こけし工人に弟子入り！三日間かけて材料の切り出しからロクロ作業、彩色まで工人本来
の工程での作業を体験。今回初めてとなる弟子入り企画は、一人の工人に付き二名のみと
いう人数限定で、こけし工人の直接指導のもとに伝統こけし作りを学べます。二泊の温泉
宿と福島駅から送迎、夜はこけし工人さんとの宴会付きは破格です！

作業内容：木を選ぶ→削りだし→かたち作り→ヤスリ→絵付け→蠟引き

第1回：9月16、17、18日

第2回：10月6、7、8日

時間：福島駅14時集合 / 13時40分駅解散

工人：陳野原幸紀、阿部国敏、渡辺鉄男

募集人数 各工人に付き、2名

詳細や予約はウェブをご覧ください

<http://arafudo.net/workshop/>

料金：4万5千円(宿泊費、食事等込)

1室2名様以上の利用の場合。注) 1室1名様希望は
6万円(税込)。【料金に含まれるもの】(1) 宿泊・食
事(2泊6食(夕×2・朝×2・昼×2))※1日目の夕食「こ
けし工人との懇親会」を含む。飲物は各自負担。(2) ワ
ークショップ指導料・材料費(3) 保険代



差の湯の会

阿部乳坊+総合研究大学院大学
Nyubo Abe+The Graduate University for Advanced Studies

芸術家が作った茶室で、学融合・遺伝子・光分子科学の
研究者たちと、アートと科学でお茶を楽しむ「差の湯の
会」。狭いにじり口を抜けると、普段の景色とは違う茶
室空間にたどり着きます。9月14,15,16日 10月12,13,14
日。要予約・当日チケット有。金額500円(お茶・茶菓子代)



湯道

中村ケンゴ Kengo Nakamura
近藤ヒデノリ Hidenori Kondo 他

「武器を捨てよ、一緒に風呂に入ろう！」を合
い言葉に、湯とアートの融合を通じて対話へ
の道をめざす湯道が、ゆるり楽しむ湯会プロ
グラムを開催予定。詳細はウェブにて発表し
ます。

シンポジウム 東京・土湯 福島県の小さな町で起こりつつあるアート

【東京】8月31日(土) / 開場 17:30 開演 18:00
東京大学情報学環・福武ホール ラーニングスタジオ
藤田 直哉 (SF・文芸評論家)、北田暁大 (社会学者)、鉾井
喬 (芸術家 / 福島県在住)、井上文雄 (CAMP)、藤井 光 (現代美
術家) / 司会：ユミソン

【福島県 福島市 土湯温泉町】

10月12日(土) / 開演15:00 / 土湯温泉町支所

北田暁大 (社会学者)

アラブドアートアニュアル参加作家 / 司会：ユミソン

10月13日(日) / 開演15:00 / 土湯温泉町支所

アラブドアートアニュアル参加作家 / 司会：ユミソン

9*September

6 F オープニング・セレモニー

23:00- 土湯 CAMP#2

7 S 終日 土湯 CAMP#2

8 S 終日 土湯 CAMP#2

14 S 16:00-17:00 夕の差の湯*

15 S 10:00-11:00 朝の差の湯*

16:00-17:00 夕の差の湯*

16 M 10:00-11:00 朝の差の湯*

こけし開き！*

17 T こけし開き！*

18 W こけし開き！*

10*October

6 S 10:00-15:00 ぼくらのラピュタ作戦

こけし開き！*

7 M こけし開き！*

8 T こけし開き！*

12 S 16:00-17:00 夕の差の湯*

13 S 10:00-11:00 朝の差の湯*

16:00-17:00 夕の差の湯*

14 M 10:00-11:00 朝の差の湯*

15:00-18:00 開塾パーティー

21 S こども・ビジネスモデルキャンパス**

22 S こども・ビジネスモデルキャンパス**

28 S DAYLILY ART CIRCUS 2013

泥沼コミュニティ／遠足

29 S 泥沼コミュニティ／近足

* 印は、予約制 / 有料 (当日参加はインフォメーションセンターにお問い合わせください)

** 印は、予約制 / 無料 (当日参加はインフォメーションセンターお問い合わせください)

毎週末、日曜日 15時から当日受け付けのギャラリーツアーも予定しております。

屋外会場は、雨天や都合によりお休みする場合があります。

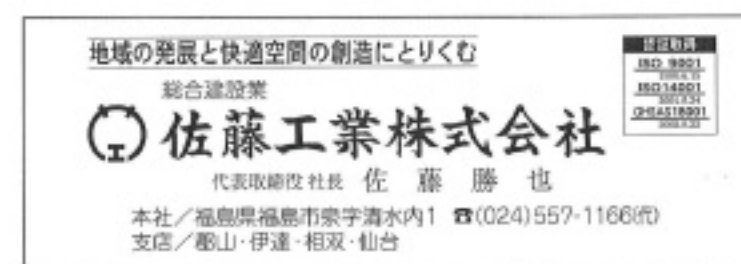
その他、お問合せ・申し込み・詳細等はインフォメーションセンターでお尋ねください。

福島民友新聞社



展覧会名 土湯アラブドアートアニュアル 2013
会期 2013年9月6日から10月14日
開館時間 9時から17時まで
会場 土湯温泉町各所

くつろぎの宿 向瀧



休館日 各会場に依る。屋外・廃旅館等は休館日なし
主催 つちゆ芸術万華郷実行委員会
観覧料 無料
温泉や店舗により入場料が必要な場合も有り

つちゆ歴史俯瞰図

土湯温泉町は、国立公園の中にあります。212世帯432人が住み、小学校に通う児童は13名。福島市の中でも高齢化が一番進んでいる、山あいにある小さな温泉町です。古くは、オオムナチノミコト(大穴貴命)が荒川のほとりで地面を鉾で突いて温泉を発見したことから「突き湯」となり、それが転じて「土湯」となったとの古い伝説があります。しかし歴史は平坦ではなく、戊辰戦争では会津軍の撤退時、西軍の拠点になることを恐れ、土湯の全村に火を放ち、73軒中71軒が焼け落ちました。その後も度重なる川の氾濫や山崩れ、昭和には二度の大火を経て現在に至っています。何度も存続の苦難を乗り越えながらも再生し、今に残る土湯温泉町の近年の歴史を見て行きましょう。

